



元気ムラをヒントに

今日からはじめる地域づくり

地域活動ヒント集



解説・資料編

【別冊】



秋田県地域コミュニティ政策推進協議会

【第二版】平成27年3月発行

自治会、町内会活動について もう少し詳しく考えて見ませんか？

「地域活動ヒント集（本編）」は、もうすでにご覧いただけましたでしょうか。

本編を読んで

「もう少し、コミュニティ活動そのものについて知りたい」

「うちの自治会は、もっと先の活動をしている」

「個別事例はおもしろいけど、活性化のための全体的な流れを知りたい」

.....と考えるアナタ！

是非、この「地域活動ヒント集【別冊】解説・資料編」を
手にとって見てください。きっと参考になると思います。

そして、この本を読んだら、次のステップは「行動」です。

- ◆窓口担当者に、〇〇について相談をする。
- ◆自治会役員に、自分の思いや考えを言葉にして伝える。
- ◆勉強会の形で、〇〇さんに講師をお願いしてみる。などなど

みなさんの次の行動を期待しています。

編集スタッフ一同



目次

【別冊】解説・資料編及び本編

■ 【別冊】

ページ

- 1 ページ 第1章 地域コミュニティ解説編
- 7 ページ 第2章 地域コミュニティ自立プログラム編
- 17 ページ 第3章 自治会・町内会等住民自治組織に関するアンケート解説編

■ 本編

ページ

- 1 ページ 第1章 Q&A編
- 29 ページ 第2章 活動地域及び事例編
- 107 ページ その他 ・用語解説
・地域コミュニティサポート窓口の案内

第1章 地域コミュニティ解説編

1-1 地域コミュニティって？

Q1) 「地域コミュニティ」と良く聞きますが、何ですか？

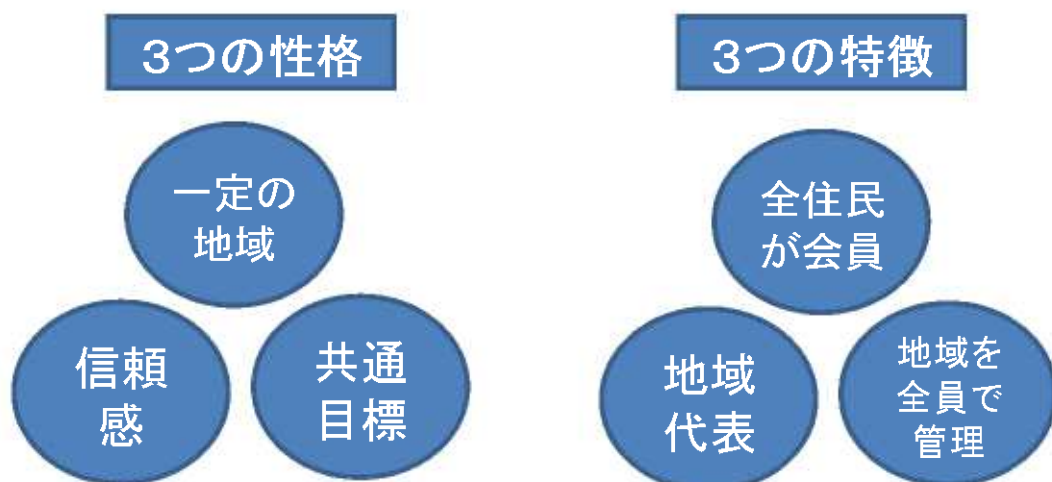
A1) 明確な定義はありませんが、次の性格を持つ組織です。

- ・一定の地域に生活する、人や企業、団体等により構成されている組織。
- ・住みよい生活環境を目指し、様々な共通目標を持つ組織。
- ・あけっぴろげでかつ、会員相互の信頼感がある組織。

特徴としては、次の3点が上げられます。

- ・全住民が会員になることができます。
- ・様々な地域課題に取り組むなど地域を全員で管理します。
- ・対外的には地域代表として活動に当たります。

自治会、部落会、町内会、常会などと呼ばれてまちづくり協議会や複数の自治会による組織連合体も含まれます。



Q2)「地域コミュニティ」って、何のための組織ですか？

A 2) みなさんのまわりには、個人や家庭では解決できない、みなさんに関係することがたくさんあります。

そのような地域全体に関係することについて、みんなで話し合い、取り組むための組織です。

【主な活動事例】

- ・ 環境の維持・美化活動（地域内の清掃、花壇整備など）
- ・ 地域の安全安心を守る活動（自主防災・防犯、高齢者や子どもの見守りなど）
- ・ つながりづくり（親睦行事、運動会、文化祭、敬老会など）
- ・ 地域文化の継承（伝統行事・祭典、伝統芸能、伝統工芸、郷土料理など）
- ・ 行政や他団体との連絡・調整や交流・連携活動（行政、企業、各種協会等団体など）

問 題

この数字は、何を表すでしょう？

$$\frac{27,000}{35,000} \quad \doteq \quad 80\%$$

(回答は4ページです)

1-2 地域コミュニティの自立とは？

Q3)「地域コミュニティの自立」とはどういうこと？

A 3) 地域の暮らしを、みなさんで支え、維持するために、「みんなが地域を見つめ直し、課題やお宝を洗い出し、どのような活動に取り組むかについて、自治会の意思として決定し、実行を重ねていく」ことです。

「2-1-3『自治型』は、こんなコミュニティ」(p10)を参照してみてください。

Q4)「地域コミュニティの自立」は、なんで必要なの？

A 4) 人口減少や高齢化が進み、いままでは、世帯ごとに解決できていたこと、例えば、「除雪」や「高齢者の見守り」など、日常生活の安全安心に関わることなど、できなくなってきたことが多くなり、それぞれ、地域の重要な課題になってきました。

しかし、これらの課題は、行政だけの一律的政策では、解決が困難になってきています。

そこで、地域の皆さまが、自らの課題と捉え、行政まかせにせず、主体的に地域経営に取り組み、解決に向けた自己決定力を持つ自立したコミュニティとなっただくことが必要となってきたのです。

Q5) 高齢化が進み、若い人もいないし、「地域コミュニティの自立」と言われても、どうしていいのかわからない。

A5) 地域コミュニティの自立とは、地域が抱える様々な課題に対して、「みんなで考え、意思決定し、実行する」ということで、「自分の地域の課題を他人まかせにしない」ということです。

但し、地域コミュニティですべての課題を解決するということではありません。

「地域で出来ること、行政の協力など外部との連携が無いと出来ないことについても、みんなで話し合い決めていく」ということです。

◆地域コミュニティの自立

- ・みんなで考える。
- ・意思決定する。
- ・実行を重ねる。

◆自立のためには

- ・地域で出来ること、出来ないことの仕分けを行う。
- ・行政等との連携も含めて課題に対応する。

答 え

2ページの答えは、阪神・淡路大震災の時に、倒壊家屋の下敷きになった人に対する、家族や近親者により救助された人の割合です。災害時における共助の役割、コミュニティの重要性が再認識されました。

「阪神・淡路大震災では6,000人を超える人が犠牲となったが、要救助者35,000人のうち約8割の27,000人が家族や近隣者により救出されたといわれている」

(引用:河田恵昭「大規模災害による人的被害の予測」(自然災害科学vol.16,No.1(1997)p.8)

「阪神・淡路大震災の時、緊急救助や復旧・復興活動がスムーズに行えた地域は、それ以前から地域活動が盛んで、住民の連携がうまく進んでいたと言われています。』

(引用:神戸市「「地域活動ちえぶくろ」～地域活動を推進していくために～「次に」p15)

1-3 地域コミュニティ活動を進めていくヒントは？

Q6) 実際に、何からやったらいいかわからない。どうしたらいいのか？

A6) いきなり、成果を求めることは大変です。まず目指すことは、地域コミュニティが一步一步動き出すことです。

言い換えれば、「小さな変化」や「動き出す過程」が大事とも言えます。

そのためには、まず、各市町村にある身近な相談先の「地域コミュニティサポート窓口」に相談してみてもいいかがですか？

○相談先

- ・地域コミュニティサポート窓口
(本編 p 109に掲載)

○取組のヒント

- ・地域活動ヒント集
 - ・秋田県の頑張る農山漁村集落応援サイト(右頁参照)
 - ・元気ムラ通信
- 「2-2 自治会・町内会のステップアップ」(p11)を参照してみてください。

○あきた元気ムラ大交流会

県内各地で様々なテーマに取り組んでいる、「元気ムラ」が一堂に会し、各地域のご自慢の逸品を囲んで交流する場で、毎年9月上旬の土曜日、または日曜日に開催しています。

参加することにより、他の地域の良さだけでなく、今まで気づかなかった自分たちの地域の良さが見えてきて、明日に向かう元気と活性化の芽が生まれてきます。

また、地域や物産の宣伝だけではなく、交流・連携先や地域の応援団も見つかります。

平成26年度は、北秋田市文化会館で開催され、北海道や岩手県からの参加も含め71団体約450名が参加し、活発な交流が行われました。



参考サイト

検索：「元気ムラ大交流会」

『秋田県のがんばる農山漁村応援サイト』

県内の集落には、広く知られていないけど、素敵なお祭り、芸能、景観、郷土料理やそこで暮らしている人がいます。

そのような地域の「お宝」を生かした住民主体の「元気ムラ活動」を、インターネットで紹介しています。

携帯やスマホでも閲覧できます。

北は小坂町から、南は湯沢市まで、県内65地域303集落、1077記事888本のブログが掲載されています。

検索キーワード

元気ムラ

第2章 地域コミュニティ自立プログラム編

2-1 自治会・町内会(コミュニティ)の形態

地域コミュニティの状況はさまざまです。みなさんがお住まいの地域の状況は、何型に当てはまりますか？

親交型 コミュニティ

運動会や、さなぶり、夏祭り、収穫祭などの親睦行事を実施し、地域内での交流が行われているコミュニティ

→P8へ

課題解決型 コミュニティ

自主防災や、伝統芸能の保存継承、高齢者の見守りなど、地域で課題に対応しているコミュニティ

→P9へ

自治型 コミュニティ

地域将来像の共有や、その実現に向けた活動と、地域を良くするための住民自治活動を総合的に実施しているコミュニティ

→P10へ

2-1-1 『親交型』はこんなコミュニティ

運動会や、さなぶり、夏祭り、収穫祭などの親睦行事を実施し、地域内での交流をしている。



地域に住む人が「顔を合わせる場」を持っている。

→地域の課題等について話し合いの場をもつ下地ができている。

→住民が地域の一員としての意識を持っている。



坂之下地域(由利本荘市)
→本編P67へ



木下地域(横手市)
→本編P89へ

2-1-2 『課題解決型』はこんなコミュニティ

自主防災や、伝統芸能の保存継承、高齢者の見守りなど、地域が抱える課題に対応しているコミュニティ。



地域に住む人自身が地域の課題を捉え、その「課題の解決に向け話し合う場」を持っている。

- 様々な課題について、地域で解決するための下地ができています。
- 住民それぞれが自分の住む地域を良くするための取り組みに参加する気持ちを持っている。



中石地域(男鹿市)
→本編P51へ



半道寺地域(大仙市)
→本編P79へ

2-1-3 「自治型」はこんなコミュニティ

地域将来像の共有や、その実現に向けた活動と、地域を良くするための住民自治活動を総合的に実施しているコミュニティ。

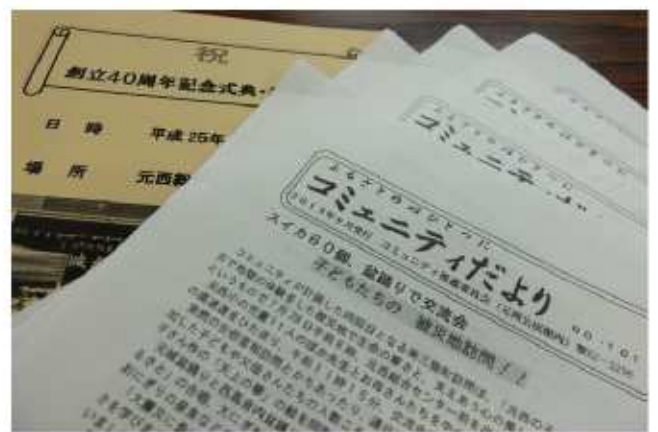


コミュニティが自治の組織として「地域の課題を解決」する力を持っている。

→自分たちの住む地域の将来は自分たちで決める。
そこに向けた話合いができる。
＝「自己決定力」を持っている。



山田地域(大館市)
→本編P35へ

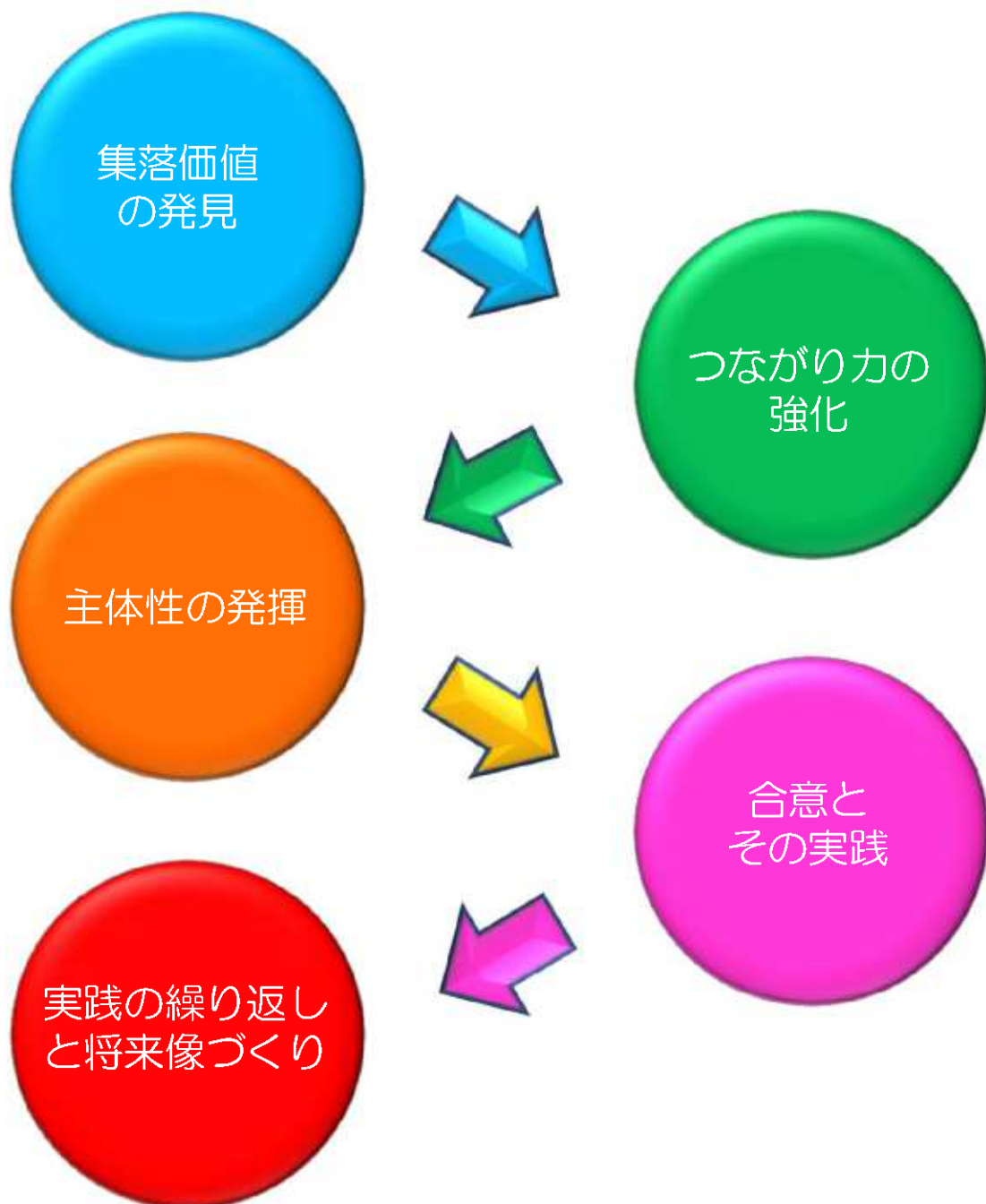


堀回地域(羽後町)
→本編P101へ

2-2 自治会・町内会(コミュニティ)の ステップアップ

いきなり「自分たちの住む地域の将来について話しあう」のは難しいので、そこに向かうためのステップについて考えてみました。

どこかに「みなさんの地域にあてはまるヒント」はありませんか？



2-2-1
集落価値
の発見

「個」が活躍するための 土台づくり

「集落点検」も一つの方法です！

★地域の人材や資源の掘り起こしに！

- 地域に住む人が持つ技や、経験、知識など人材こそが「大きな財産」になることが多くあります。人材を発掘したら「個」が活躍できる場が、きっと見えてきます。

★「そこに住む人」それぞれが持つ地域への愛着や誇りを共有できる！

- 「地域をなんとかしたいと考えているのは、自分だけではないんだ！」など仲間が、きっと見つかります。



集落点検の様子



集落点検報告会の様子

2-2-2
つながり力の
強化

「個」と「個」を
つなぐ「まとまり」
づくり

「座談会」はいかがでしょうか！

- ★「一世帯からひとり」ではなく！
→ 自治会総会のように戸主だけの参加ではなく、性別や世代を問わず参加することで思いもかけない方向に話が進むこともあります。
- ★「できること探し」から！
→ がんばり過ぎると次に続かない場合も…
みんなできそうなことを探して、「これだったらできるんじゃないか？」ぐらいが意外とちよいどいいと思います。



三ツ矢沢地域(鹿角市)
→本編P31へ



三ツ方森地域(由利本荘市)
→本編P65へ

2-2-3
主体性の発揮

「できること」探しから 実践に！

「まずやってみる！」から始まります！

- ★ 「個」が輝ける舞台設定を！
 - 地域の活動は、そこにお住まいの一人ひとりが活躍できる舞台です。
みんながそれぞれに得意な分野で活躍できる配役を考えてみてください。

- ★ 「まずやってみる」が次へとつながります！
 - みんなで一つの目標に向かって力を合わせることは楽しいことです。
「まずやってみる」から始まり、「じゃあ次は何やる？」につなげていきましょう。



男鹿中地域(男鹿市)
→本編P49へ



落合地域(五城目町)
→本編P61へ

2-2-4
合意と
その実践

「やって良かった」が
「じゃあ次は？」

ぜひ、振り返りと実践の積み重ねを！

- ★ 「やって良かった・楽しかった」を共有してください！
→ みなさんが取り組んだ活動をぜひ振り返って話合う場を作ってください。
そこで出てくる「今度はこうやろう！」が次につながります。
- ★ 「実践の積み重ね」が地域づくりへとつながります！
→ 実践と振り返りの繰り返しが実は地域づくりそのものとなります！
ここまで来たらテーマを「地域課題」にして話し合いをしてみてもいいでしょうか？



赤田地域(由利本荘市)
→本編P71へ



田沢地域(仙北市)
→本編P83へ

2-2-5
実践の繰り返し
と将来像づくり

それぞれの「個」が主役
となって輝く自治組織づ
くり

地域の将来像を話し合ってみましょう！

★ 「将来像」＝「難しい」？

→ そんなことはありません！例えば、「この地域は
今●●に困っている。」といった不安・課題を反対
から見れば… 「●●が▲▲だったらいいなあ」に
なるはずです。

難しそうな将来像も「地域の将来が▲▲になって
ほしい！」まで来たら答えは近いのでは♪

「地域が▲▲になるために■■をやろう！」など、
こうした地域のことを話せるのは、そこにお住まい
のみなさんだけなんです！



馬場目・杉沢地域(五城目町)
→本編P63へ



若畑地域(湯沢市)
→本編P99へ

第3章 自治会・町内会等住民自治組織に関する アンケート解説編

3-1 アンケート調査の概要

県と市町村による秋田県地域コミュニティ政策推進協議会では、地域や自治会の現状や課題、元気になるための可能性を調査し、今後どのような事業を講じていくべきかを、地域の皆様とともに探ってまいりたいと考え、平成25・26年の2カ年で、全市町村約5,666の自治会を対象にアンケート調査を行いました。結果、全体の6割に当たる3,435自治会から回答をいただきました。

アンケート調査の内容は、自治会の世帯数、収入源、主な活動、地域や自治会の課題や対応状況、交流希望、元気づくり活動に対する考えについて回答をお願いしました。

回答された方は、会長及び副会長が78%、役員・事務局・行政連絡員等が7%、未記入13%が未記入でした。

- ①県内の基礎自治会数 約5,800自治会
- ②配布自治会数 25市町村 5,666部（配布率②／① =98%）
- ③回答数 25市町村 3,435部（回答率③／② =61%）
- ④県内自治会数に対する回答数の割合（③／① =59%）

3-2 自治会・町内会等の加世帯数について

自治会の加入世帯数は、50世帯未満が56%を占め比較的小規模の自治会が多く、特に世帯数19世帯以下の小規模な自治会が18%あります。

※参考 平成22年度の全国の過疎市町村の集落では、50世帯未満の集落は62%で、特に中国78%、四国71%と率が高く、沖縄13%程度と低くなっています。

3-3 自治会・町内会等の加入率について

自治会の加入率は、49世帯以下では96%ですが、規模が大きくなるにつれて加入率が低下し、500世帯以上の大規模な自治会は、88%になります。これは、アパートなど未加入世帯があるためと思われます。

表3-2 自治会の規模別加入世帯数

区分	自治会加入世帯数	自治会数	率	累計	集落数	率	累計
小規模1	1世帯から9世帯	129	3.8%	3.8%	608	17.7%	17.7%
	10世帯から19世帯	479	13.9%	17.7%			
小規模2	20世帯から29世帯	532	15.5%	33.2%	1,297	37.8%	55.5%
	30世帯から39世帯	412	12.0%	45.2%			
	40世帯から49世帯	353	10.3%	55.5%			
中規模1	50世帯から59世帯	271	7.9%	63.3%	872	25.4%	80.8%
	60世帯から69世帯	215	6.3%	69.6%			
	70世帯から79世帯	157	4.6%	74.2%			
	80世帯から89世帯	127	3.7%	77.9%			
	90世帯99世帯	102	3.0%	80.8%			
中規模2	100世帯149世帯	311	9.1%	89.9%	430	12.5%	93.4%
	150世帯から199世帯	119	3.5%	93.4%			
大規模1	200世帯から299世帯	113	3.3%	96.7%	183	5.3%	98.7%
	300世帯から499世帯	70	2.0%	98.7%			
大規模2	500世帯以上	17	0.5%	99.2%	17	0.5%	99.2%
未記入		28	0.8%	100.0%	28	0.8%	100.0%
合計		3,435			3,435		

※ 自治会加入世帯数中央値 43世帯

表3-3 規模別世帯数と、自治会・町内会等の加入世帯数

区分	自治会加入世帯数	平均区域内世帯数	平均加入世帯数	加入率
小規模1	1世帯から19世帯	13.7	12.9	94.5%
小規模2	20世帯から49世帯	34.4	32.8	95.6%
中規模1	50世帯から99世帯	73.5	69.1	94.0%
中規模2	100世帯から199世帯	145.3	134.4	92.5%
大規模1	200世帯499世帯	324.4	288.7	89.0%
大規模2	500以上	785.1	687.1	87.5%
全体平均		72.8	67.3	92.5%

3-4 自治会・町内会等の会長や役員の選出方法について

会長の選出について、「総会の選挙」「役員間の互選」「立候補または推薦」による選出は、19世帯以下では5割ですが、100世帯を超えると9割以上です。

表3-4-1 会長の選出方法について

区分	項目	①総会の選挙	②役員間の互選	③会員又は役員 の立候補又は推薦	小計	④持ち回り	⑤会長(前任者)の指名	⑥その他	回答計
全体	自治会数	1,390	605	556	2,551	570	148	142	3,411
	率	40%	18%	16%	74%	17%	4%	4%	99%
小規模1	1世帯から 19世帯	29%	7%	12%	48%	37%	6%	5%	96%
小規模2	20世帯から 49世帯	41%	15%	18%	73%	18%	4%	4%	100%
中規模1	50世帯から 99世帯	45%	23%	16%	84%	8%	4%	4%	100%
中規模2	100世帯から 199世帯	45%	29%	18%	92%	5%	2%	2%	102%
大規模1	200世帯499 世帯	45%	23%	19%	87%	7%	4%	4%	103%
大規模2	500以上	65%	24%	12%	100%	0%	0%	0%	100%

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

○その他の欄に記載された主な選出方法

- ・総会で話し合い・推薦 28件
- ・選考委員会 26件
- ・役員間の互選・話し合い 21件
- ・持ち回り 9件
- ・抽選・くじ引き 5件
- ・前任者の指名 1件

※件数は、類似回答数

役員の選出については、「総会の選挙」「役員間の互選」「立候補または推薦」による選出は、会長職の選出率に比較して、全体では18%低下します。また、規模別でもそれぞれ1～2割程度低くなっています。また、「その他」に記載された選出方法で、「会長」または「班・区からの推薦」があわせて41自治会ありました。

表3-4-1 会長の選出方法について

区分	項目	①総会の選挙	②役員間の互選	③会員又は役員 の立候補又は推薦	小計	④持ち回り	⑤会長 (前任者)の指名	⑥その他	回答計
全体	自治会数 率	1,390 40%	605 18%	556 16%	2,551 74%	570 17%	148 4%	142 4%	3,411 99%
小規模1	1世帯から 19世帯	29%	7%	12%	48%	37%	6%	5%	96%
小規模2	20世帯から 49世帯	41%	15%	18%	73%	18%	4%	4%	100%
中規模1	50世帯から 99世帯	45%	23%	16%	84%	8%	4%	4%	100%
中規模2	100世帯から 199世帯	45%	29%	18%	92%	5%	2%	2%	102%
大規模1	200世帯499 世帯	45%	23%	19%	87%	7%	4%	4%	103%
大規模2	500以上	65%	24%	12%	100%	0%	0%	0%	100%

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とにならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

○その他の欄に記載された主な選出方法

- ・総会で話し合い・推薦 28件
- ・選考委員会 26件
- ・役員間の互選・話し合い 21件
- ・持ち回り 9件
- ・抽選・くじ引き 5件
- ・前任者の指名 1件

※件数は、類似回答数

3-5 自治会・町内会等の収入について

「一世帯あたりの年会費」は、小規模の自治会ほど大きく、19世帯以下の自治会では約8千円に対して、200世帯以上の自治会では約4千円程度です。

市町村からの交付金等は6割の自治会で受けています。その他の収入は3割あり、「繰越金」、「リサイクルや資源ゴミの回収」、「祭典等の寄付金」、「会館等使用料」などがあります。

表3-5-1 自治会・町内会等の世帯からの年会費

	全体	加入世帯数別					
		小規模1	小規模2	中規模1	中規模2	大規模1	大規模2
		1~19世帯	20~49世帯	50~99世帯	100~199世帯	200~499世帯	500世帯以上
世帯からの年会費							
件数	3,138	492	1,199	825	415	180	17
率	91%	81%	92%	95%	97%	98%	100%
平均額(千円)	6.9	7.8	7.6	6.4	5.5	5.0	4.3
中央値の額(千円)	5.0	5.0	5.6	5.0	4.7	4.4	3.6
最大額(千円)	181.8	105.1	129.8	181.8	66.4	60.7	11.4

表3-5-2 自治会・町内会等の年会費以外の収入項目

	全体	加入世帯数別					
		小規模1	小規模2	中規模1	中規模2	大規模1	大規模2
		1~19世帯	20~49世帯	50~99世帯	100~199世帯	200~499世帯	500世帯以上
市町村からの補助金等							
件数	2,051	317	749	515	294	139	14
率	60%	52%	58%	59%	68%	76%	82%
委託業務手数料							
件数	539	54	166	127	67	32	5
率	16%	9%	13%	15%	16%	17%	29%
入会地等からの収入							
件数	320	24	77	74	34	18	2
率	9%	4%	6%	8%	8%	10%	12%
その他の収入							
件数	1,050	113	345	291	153	68	11
率	31%	19%	27%	33%	36%	37%	65%

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

○その他の欄に記載されたコメントの主な内容

・繰越金・基金・特別会計	158 件
・リサイクル・資源ゴミ	75 件
・寄付・寸志等雑入	70 件
・土地・会館等使用料	59 件
・入会地・共有地等の活用	21 件
・納税報奨金	42 件
・社会福祉協議会	29 件
・行事・祭り収入・助成金	22 件
・有志会等町内団体等より	15 件
・地域企業	15 件
・農協・農業団体	15 件
・アパート等賛助会員等協力費	14 件
・利息	14 件
・土地改良区・水利組合等	14 件
・除雪・草刈り・清掃補助金	12 件
・農地水・中山間等	12 件
・欠席負担金	10 件
・神社・お初穂	10 件
・事業収入	9 件
・生産班・生産組合	8 件
・林業	8 件
・交通安全協会・教育委員会	8 件
・自治会連合会・役員会	8 件
・共済会・共済組合	7 件
・行政協力員手当	4 件
・臨時徴収	3 件
・しめ縄等受託	2 件
・バザー	2 件
・自動販売機	2 件
・東北電力	2 件
・かんぼ手数料	1 件

3-6 自治会・町内会等の活動について

「回覧版」「集会所・児童館等の管理」「地域清掃・美化」は、7～8割の自治会で取り組んでいます。

「会報」「防災・減災」「祭りの実施」「運動会」は、規模が大きいほど実施する率が高く、逆に「神社・墓地の管理」「用水路の管理」は、規模が小さいほど実施する率が高くなっています。

表3-6 自治会・町内会等の活動について

	全体	加入世帯数別					
		小規模1	小規模2	中規模1	中規模2	大規模1	大規模2
		1～19世帯	20～49世帯	50～99世帯	100～199世帯	200～499世帯	500世帯以上
○くらし・生活関連の活動							
回覧板	81%	82%	83%	83%	79%	84%	76%
会報(自治会だより等)の発行	31%	17%	25%	38%	49%	57%	76%
防災・減災活動(自然災害)	36%	24%	34%	42%	48%	55%	53%
消防活動(予防・消火)	27%	23%	27%	29%	31%	32%	24%
デマンド交通等への協力	10%	8%	9%	10%	13%	15%	6%
自警活動(地域の見回り等)	18%	13%	14%	21%	25%	28%	24%
○地域環境等の管理活動							
集会所・児童館等の管理	66%	64%	66%	67%	72%	75%	71%
神社、墓地等の管理	39%	47%	43%	39%	31%	20%	6%
入会地等の財産管理	18%	23%	19%	19%	15%	9%	12%
自然保護・環境保全活動	28%	30%	28%	30%	27%	27%	29%
地域清掃・美化活動	83%	77%	84%	86%	89%	89%	94%
用水路の管理	33%	43%	37%	29%	26%	22%	18%
上下水道の管理	6%	8%	4%	7%	6%	5%	0%
生活道路・街灯等の管理	61%	56%	59%	66%	70%	74%	71%
○親睦・文化活動							
祭りの実施	53%	45%	52%	56%	67%	70%	76%
伝統芸能等の文化保存・継承	16%	9%	16%	19%	23%	18%	29%
運動会の実施	28%	16%	24%	30%	41%	56%	53%
花見・さなぶり等の親睦活動	43%	43%	46%	43%	41%	40%	18%

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とにならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

(その他の活動に記載された主な内容)
 ※類似事例は、ある程度まとめています。

①福祉(高齢者、子育て支援等)

・いきいきサロン・高齢者の集いの場	122件
・子供の会・子供神輿・七夕等行事協力	101件
・敬老会・記念品贈呈	73件
・高齢者・障害者見守り・声かけ・マップ作成	72件
・雪寄せ・雪下ろし・お助け隊等共助	70件
・健康教室・健康づくり	51件
・老人クラブ助成・協力	37件
・世代交流会・親と子の会	26件
・高齢者の外出・ゴミ出し等の世話	23件
・ワイワイランチ	22件
・子供の見守り	19件
・社会福祉協議会への協力・福祉座談会	18件
・祝金(長寿・結婚・児童・出産)等	13件
・料理・生花・着付け講習会	13件
・ミニディサービス	12件
・自主防災・防災マップ・災害時要援護者登録	12件
・婦人会活動	11件
・地域支え合い体制づくり	9件
・福祉施設との交流	9件
・ラジオ体操・ウォーキング等健康づくり	9件
・福祉ネットワーク	8件
・空き家の管理	3件
・介護教室	2件

②地域づくり、地域おこし

・夏・冬祭り・新年会・たんぼ会等親睦会	64件
・親睦旅行・見学会・視察研修	78件
・花壇・公園・菜園・ソバ・集落有林植樹	65件
・美化活動・清掃	49件
・グラウンドゴルフ・パークゴルフ	48件
・町内レクリエーション・カラオケ	46件
・伝統行事(梵天・なまはげ・賽の神)	43件
・スポーツ大会・運動会	33件
・七夕・盆踊り・迎え火	25件
・近隣集落・まちづくり協議会等との活動	23件
・農地水保全活動、用排水路の草刈り	20件
・研修会・講演会・地域の歴史研修会	17件
・直売所・特産品開発・間伐材活用等	13件
・文化祭・音楽会・芸術鑑賞会	8件
・景観づくり・自然保護・蛍の鑑賞会	7件
・市町村の活性化支援等事業の活用	5件
・クリスマスツリーの飾りつけ・ひな飾り	5件
・交流イベント・保育所や学生との交流	5件
・ソバ体験・石窯ピザの活用	3件
・地域芸能への支援	3件
・集落間の交流、元気ムラ大交流会への参加	3件
・軽トラなんでも市・青空市/フリーマーケット	3件
・桜祭・花火大会・りんご祭等集客イベント	2件
・集落内地域おこし団体の活動支援	2件

③都市農村交流

・地域ガイド・フットパス	3件
・体験民宿、観光業	2件

④その他の活動

・アメシロ等防除	23件
・除雪・流雪溝管理・消火栓除雪	17件
・廃品回収	15件
・交通安全・防犯	12件
・春祈祷・寿祈祷	5件
・町巡り・ウォーキング	4件
・ゴミ集積所付近の衛生管理	4件
・部落田や入会地の活用・農業の協働作業	4件
・座談会・講演会・講習会	4件
・青年部	3件
・婦人消防隊・地域消防団	3件
・任意団体のイベント	3件
・粗大ゴミの回収・ゴミ収集所の管理	3件
・相染講、庚申祭及び念仏講、唐松講	3件
・火災報知器設置・防災活動	2件
・部落会館の維持、雪囲い	2件
・小中学校懇談会	2件
・講習会	2件
・小学校体験受け入れ・交流事業	2件
・レンタサイクル・観光栗園管理・運営	2件
・椎茸菌植え付け作業(35年間継続)	2件
・写真、手芸、書、絵画等作品展	2件

3-7 自治会・町内会等の市町村や各種団体から依頼される業務について

「行政連絡の回覧等」「広報誌の配布」「募金・協力金」の依頼が自治会の規模に関係なく多く、8～9割の自治会で依頼されています。そのほかの業務は、「学校教育」を除き規模が大きくなるにつれて依頼される率が下がっています。

また、次ページの「その他の依頼事項」として記載された内容から、依頼元は、行政関係団体だけではなく、社会福祉協議会、日本赤十字社、地域協議会やまちづくり協議会、社会福祉団体、交通安全・防災・体育等協会、農協、神社など各種団体から来ており、内容も多岐にわたっています。

表3-7 市町村や各種団体から依頼される業務について

	全体	加入世帯数別					
		小規模1	小規模2	中規模1	中規模2	大規模1	大規模2
		1～19世帯	20～49世帯	50～99世帯	100～199世帯	200～499世帯	500世帯以上
行政連絡の回覧等	88%	91%	89%	88%	83%	83%	82%
広報誌の配布	82%	85%	85%	82%	77%	67%	82%
保険料等の集金	3%	4%	3%	3%	1%	1%	0%
学校教育	36%	32%	32%	38%	44%	47%	41%
募金・協力金	85%	88%	87%	85%	79%	78%	82%
他団体の会費等の集金	37%	41%	38%	35%	36%	34%	47%

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

○その他の依頼事項(行政から)

- ・ 学校(回覧、イベント協力) 51件
- ・ 警察・駐在所・交番(配布物) 39件
- ・ 河川・道路草刈り、清掃 27件
- ・ 公園・市町村道等草刈り 11件
- ・ 放牧場、センター等行政管理地・施設管理 9件
- ・ 行政からイベント・会議参加 8件
- ・ 交通指導・子供見守り活動 7件
- ・ 警察防犯活動 5件
- ・ ゴミ集積所の管理・廃棄的減量等の推進 5件
- ・ 行政から選挙・座談会集会所使用 5件
- ・ 各種連絡員・推進委員の委嘱 4件
- ・ 空き家等各種調査 4件
- ・ コミセン等(チラシ配布、行事協力) 3件
- ・ 見舞金、義援金、行事への協力金 3件
- ・ 用水路の管理 3件
- ・ 自主防災組織設立 3件
- ・ 間口除雪 2件
- ・ 座談会の開催 2件
- ・ 高齢者の支援 2件
- ・ 保健所・農業委員会(配布物) 2件

○その他の依頼事項(行政関係以外の団体から)

- ・ 社会福祉協議会(集金・行事協力) 328件
- ・ 日本赤十字社(社費の集金) 137件
- ・ 地域協議会(行事・研修会・会議参加) 112件
- ・ 赤い羽根・青い羽根、緑の羽根募金 93件
- ・ 交通安全協会(掛け金集金等) 66件
- ・ 身体障害者団体、父母連合会等 60件
- ・ 神社(祭典の協力・寄付) 58件
- ・ 農協(配布物・カタログ販売・集金) 58件
- ・ 体育協会(行事参加) 54件
- ・ 土地改良区(配布物、環境保全活動) 32件
- ・ 火災予防組合・消防団(活動支援) 26件
- ・ 市民憲章(行事への協力・配布物) 25件
- ・ センター・公民館(配布物・集金) 24件
- ・ 防犯協会 23件
- ・ 盆踊り・祭り等の実行委員会(協賛金) 20件
- ・ 地域団体のイベント協力 17件
- ・ 福祉・健康・保険推進委員会 14件
- ・ 観光協会・商工会(イベント協力) 11件
- ・ 青少年育成協議会 10件
- ・ 婦人会(行事への協力) 8件
- ・ 森林組合(配布物・山の管理) 7件
- ・ 公園保存委員会(集金) 6件
- ・ 結核予防婦人会(集金) 5件
- ・ 自主防災連合会 5件
- ・ 流雪溝利用組合(集金・管理) 4件
- ・ 伝統芸能等保存会(獅子舞行事協力) 4件
- ・ 老人福祉施設(配布物) 4件
- ・ テレビ組合(会費) 4件
- ・ 集落会館・器機の貸し出し 4件
- ・ 老人クラブ(集金・行事への協力) 3件
- ・ 中学校後援会(集金・配布物) 3件
- ・ 地区協議会(アメリロ駆除)・防除組合 3件
- ・ 共済会(集金) 3件
- ・ 地元企業 3件
- ・ 子供会の協力 2件
- ・ 養護学校(防災訓練等) 2件

3-8 あなたの自治会・町内会等の活動状況について

全体として「活発である」「まあまあ活発である」を合わせると約3割の自治会が「活発」と答えています。

規模別では、規模が大きくなるほど「活発」と答える率が高くなっています。

表3-8 あなたの自治会・町内会等の活動は活発だと思いますか

	全体	加入世帯数別					
		小規模1	小規模2	中規模1	中規模2	大規模1	大規模2
		1～19世帯	20～49世帯	50～99世帯	100～199世帯	200～499世帯	500世帯以上
活発であると思う	9%	4%	7%	10%	14%	18%	59%
まあまあ活発であると思う	21%	13%	19%	25%	28%	36%	24%
普通だと思う	51%	55%	54%	51%	44%	38%	18%
やや少ないと思う	8%	9%	10%	7%	7%	5%	0%
少ないと思う	8%	16%	8%	6%	4%	2%	0%

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

○他の自治会・町内会等で活発が元気だと思う地域はどこですか。

自治会名	市町村名	活発と思う活動内容	回答数
上町※	能代市	防災・避難訓練	11件
泉	秋田市	地域活動に必要な環境整備	5件
坂之下※	由利本荘市	ソバ・ピザづくり	3件
三又※	横手市	雪下ろし、除雪の協力活動	3件
大葛※	大館市	温泉を中心とした夏祭り、ソバ栽培	3件
山田※	大館市	軽トラ市、集落で舞茸栽培	3件
八津	仙北市	かたくり群生保存、西明寺栗ブランド化販売	2件
角館北部	仙北市	自主防災、武家屋敷の防災	2件
田沢湖高原	仙北市	雪祭り・観光	2件
石神	仙北市	自主防災	2件
三木田	北秋田市		2件
明田	秋田市		2件
茨島7丁目	秋田市	各種行事や親睦会	2件
中央	秋田市	会報、防災、地域清掃	2件
小沢田	上小阿仁村	伝統芸能	2件
岩谷町	由利本荘市	冬季における通学路の除排雪	2件
北樽岡	大仙市	防災活動、文化活動	2件
余目※	大仙市	花火大会・産直・ソバ	2件
仁井田	横手市	仁井田番衆、祭典	2件

※自治会名に「※」を付けている地域は「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」の掲載地区で、「あきた元気ムラ」で検索できる。

3-9 あなたの住んでいる地域について不安な点や課題と、自治会や町内会での対応について

「地域の維持・存続」「高齢化による共同作業の困難化」「担い手不足」「高齢化の世帯の増加」「祭典・親睦・文化活動の困難化」「防災・減災対策」「雪よせ、雪下ろし等」といずれも、およそ6割以上の自治会が危機感を感じています。

また、「地域の維持・存続」について、危機感を感じている自治会は、全体ではほぼ6割ですが、規模が小さくほど高率となっています。

表3-9 地域の不安な点や課題と、自治会・町内会での対応について

		事案への不安感・危機感						地域での対応				
		①強い危機感	②やや危機感	①+②	③あまり感じていない	④危機感はない	⑤特に考えた事なし	ア地域で対応している	イ地域で対応したい	ア+イ	はウ地域で対応していない	応 行政主導の期待
地域の維持・存続	全体	17%	43%	60%	17%	8%	7%	20%	32%	52%	13%	17%
		575	1,474	2,049	598	260	224	678	1,095	1,773	434	580
	小規模1 ～19世帯	27%	41%	69%	11%	5%	7%	16%	27%	43%	12%	22%
		167	251	418	67	30	40	99	165	264	75	132
	小規模2 20～49	16%	44%	61%	17%	6%	7%	18%	31%	49%	14%	18%
		213	576	789	217	78	95	229	408	637	182	235
	中規模1 50～99	15%	45%	60%	19%	9%	5%	21%	36%	57%	12%	15%
		128	391	519	165	78	45	182	315	497	105	129
中規模2 100～199	12%	39%	50%	21%	10%	8%	26%	31%	57%	12%	13%	
	51	166	217	92	42	35	113	133	246	50	55	
大規模1 200～499	5%	42%	47%	26%	16%	4%	24%	37%	3%	11%	13%	
	10	76	86	47	29	8	44	68	112	21	24	
大規模2 500世帯～	12%	29%	41%	35%	6%	6%	29%	24%	53%	0%	6%	
	2	5	7	6	1	1	5	4	9	0	1	
集会所の維持・管理	全体	9%	27%	36%	22%	15%	8%	29%	20%	49%	9%	19%
		310	928	1,238	766	512	278	990	685	1,675	294	640
	小規模1 ～19世帯	11%	30%	41%	18%	12%	8%	24%	20%	45%	8%	19%
		66	181	247	110	71	46	148	123	271	50	114
	小規模2 20～49	9%	27%	36%	23%	13%	9%	29%	19%	48%	10%	18%
		120	350	470	299	169	122	371	250	621	132	235
	中規模1 50～99	8%	26%	35%	24%	17%	7%	30%	21%	50%	8%	19%
		74	228	302	212	144	59	260	180	440	73	165
中規模2 100～199	7%	27%	33%	22%	19%	9%	29%	21%	50%	7%	21%	
	30	114	144	96	80	38	125	89	214	31	91	
大規模1 200～499	8%	24%	2%	23%	22%	6%	41%	20%	3%	3%	15%	
	15	44	59	43	40	11	75	36	111	6	27	
大規模2 500世帯～	12%	29%	41%	24%	29%	0%	29%	29%	59%	6%	12%	
	2	5	7	4	5	0	5	5	10	1	2	

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

		事案への不安感・危機感					地域での対応					
		① 強い 危機 感	② やや 危機 感	① + ②	③ して いま り感 ない	④ 危 機 感 は な い	⑤ 特 に 考 え た 事 な し	ア 地 域 で の 対 応 し て い る	イ 地 域 で の 対 応 し た い	ア + イ	ウ 地 域 で の 対 応 は 考 え て い な い	エ 地 域 で の 対 応 を 期 待 す
高齢化等による共同作業の困難化	全体	29%	47%	75%	10%	3%	4%	17%	37%	54%	10%	18%
		987	1,603	2,590	349	98	131	571	1,282	1,853	358	611
	小規模1 ～19世帯	38%	41%	78%	6%	2%	4%	19%	29%	48%	11%	17%
		228	249	477	39	14	26	113	177	290	65	105
	小規模2 20～49	29%	47%	76%	10%	2%	4%	17%	37%	55%	12%	18%
		375	616	991	126	29	57	226	481	707	151	231
	中規模1 50～99	26%	49%	76%	13%	3%	3%	15%	41%	56%	10%	19%
		231	428	659	109	26	24	131	360	491	85	162
中規模2 100～199	27%	45%	72%	11%	5%	3%	16%	42%	58%	8%	17%	
	114	195	309	46	22	13	70	180	250	35	74	
大規模1 200～499	17%	53%	4%	14%	2%	5%	13%	42%	3%	10%	16%	
	31	97	128	26	4	10	24	76	100	19	30	
大規模2 500世帯～	18%	47%	65%	6%	18%	0%	18%	29%	47%	12%	18%	
	3	8	11	1	3	0	3	5	8	2	3	
人口減少等による担い手不足	全体	36%	42%	78%	8%	3%	3%	8%	27%	35%	18%	27%
		1,232	1,435	2,667	268	90	114	271	929	1,200	616	917
	小規模1 ～19世帯	43%	38%	81%	4%	2%	3%	8%	21%	29%	20%	25%
		259	234	493	27	15	16	48	130	178	122	151
	小規模2 20～49	38%	43%	81%	6%	2%	3%	8%	26%	33%	18%	30%
		499	554	1,053	81	23	43	99	332	431	232	383
	中規模1 50～99	37%	43%	79%	8%	2%	3%	7%	29%	36%	18%	27%
		319	374	693	67	20	25	62	256	318	157	236
中規模2 100～199	27%	41%	69%	13%	4%	4%	10%	33%	43%	16%	24%	
	118	178	296	54	18	18	42	142	184	69	104	
大規模1 200～499	15%	43%	58%	19%	6%	6%	9%	33%	2%	16%	20%	
	27	79	106	35	11	11	16	60	76	30	36	
大規模2 500世帯～	12%	41%	53%	18%	12%	6%	6%	29%	35%	24%	6%	
	2	7	9	3	2	1	1	5	6	4	1	
高齢者世帯の増加及びそれに伴う見守り・支援	全体	29%	49%	78%	9%	2%	3%	10%	31%	42%	8%	35%
		1,001	1,688	2,689	301	72	96	357	1,080	1,437	291	1,186
	小規模1 ～19世帯	28%	46%	74%	8%	3%	4%	10%	24%	34%	13%	33%
		169	278	447	46	19	24	61	145	206	77	200
	小規模2 20～49	29%	48%	77%	9%	2%	3%	10%	30%	40%	8%	37%
		379	625	1,004	121	26	41	127	394	521	107	474
	中規模1 50～99	32%	50%	82%	9%	1%	2%	10%	33%	44%	8%	37%
		282	436	718	76	13	18	90	290	380	66	319
中規模2 100～199	25%	54%	79%	8%	2%	2%	11%	40%	52%	7%	29%	
	108	232	340	36	10	10	49	173	222	29	124	
大規模1 200～499	31%	51%	4%	10%	2%	1%	11%	36%	3%	5%	34%	
	57	93	150	18	4	2	21	65	86	10	63	
大規模2 500世帯～	24%	65%	88%	6%	0%	0%	24%	47%	71%	0%	12%	
	4	11	15	1	0	0	4	8	12	0	2	
祭典・親睦・文化活動の困難化	全体	14%	46%	59%	18%	6%	6%	22%	41%	64%	11%	6%
		471	1,570	2,041	629	212	204	769	1,419	2,188	363	197
	小規模1 ～19世帯	14%	40%	55%	16%	7%	9%	19%	32%	51%	13%	8%
		88	246	334	97	40	55	114	194	308	80	48
	小規模2 20～49	15%	46%	61%	18%	6%	6%	22%	43%	64%	11%	6%
		192	593	785	233	75	79	280	552	832	149	75
	中規模1 50～99	14%	49%	64%	18%	5%	5%	23%	45%	67%	10%	6%
		126	428	554	159	44	41	197	390	587	87	48
中規模2 100～199	11%	48%	60%	18%	8%	5%	27%	42%	70%	7%	5%	
	49	207	256	76	35	22	118	182	300	31	20	
大規模1 200～499	6%	45%	3%	31%	7%	3%	28%	48%	4%	7%	2%	
	11	82	93	56	13	6	52	88	140	12	4	
大規模2 500世帯～	12%	47%	59%	18%	12%	0%	24%	41%	65%	0%	6%	
	2	8	10	3	2	0	4	7	11	0	1	

		事案への不安感・危機感					地域での対応					
		①強い危機感	②やや危機感	①＋②	③あまり感じていない	④危機感はない	⑤特に考えた事なし	ア地域で対応している	イ地域で対応したい	ア＋イ	はウ地域での対応を考えていない	応工行政主導の期待
防災・減災対策	全体	17%	43%	60%	22%	5%	4%	9%	28%	37%	9%	36%
		572	1,472	2,044	743	155	126	324	950	1,274	318	1,230
	小規模1 ～19世帯	17%	38%	54%	19%	6%	6%	9%	20%	28%	12%	34%
		102	229	331	115	36	37	52	121	173	74	206
	小規模2 20～49	16%	43%	59%	22%	5%	4%	10%	26%	36%	10%	37%
		208	562	770	286	60	49	125	337	462	127	480
	中規模1 50～99	18%	45%	63%	22%	4%	3%	10%	30%	39%	9%	38%
		158	393	551	193	32	22	83	261	344	76	331
中規模2 100～199	17%	41%	58%	23%	5%	4%	11%	33%	45%	7%	32%	
	72	176	248	99	21	16	48	144	192	31	139	
大規模1 200～499	14%	51%	65%	22%	3%	1%	7%	40%	3%	4%	34%	
	25	94	119	41	5	2	13	73	86	8	63	
大規模2 500世帯～	29%	53%	82%	18%	0%	0%	12%	47%	59%	0%	29%	
	5	9	14	3	0	0	2	8	10	0	5	
雪よせ・雪下ろし等の雪対策	全体	26%	47%	73%	15%	3%	2%	13%	24%	37%	10%	38%
		885	1,615	2,500	500	115	82	454	823	1,277	352	1,319
	小規模1 ～19世帯	25%	42%	67%	14%	4%	4%	14%	20%	34%	14%	32%
		152	258	410	87	27	24	83	123	206	85	193
	小規模2 20～49	24%	48%	72%	15%	4%	3%	13%	25%	38%	11%	37%
		310	618	928	196	46	35	167	321	488	142	479
	中規模1 50～99	29%	49%	78%	14%	2%	2%	14%	25%	39%	9%	41%
		251	425	676	126	18	14	123	221	344	77	356
中規模2 100～199	29%	46%	75%	13%	4%	2%	13%	25%	38%	7%	44%	
	126	197	323	57	17	7	56	109	165	29	191	
大規模1 200～499	19%	56%	4%	14%	3%	1%	10%	23%	2%	8%	48%	
	34	103	137	26	6	2	19	42	61	15	88	
大規模2 500世帯～	35%	47%	82%	18%	0%	0%	18%	24%	41%	12%	35%	
	6	8	14	3	0	0	3	4	7	2	6	
買物・通院の困難化	全体	9%	34%	43%	30%	8%	8%	5%	13%	18%	33%	27%
		303	1,167	1,470	1,019	273	280	160	448	608	1,141	941
	小規模1 ～19世帯	11%	35%	46%	24%	6%	8%	6%	13%	19%	27%	28%
		68	212	280	146	38	49	36	77	113	166	172
	小規模2 20～49	9%	34%	43%	30%	8%	8%	5%	14%	19%	32%	28%
		114	447	561	384	104	106	68	176	244	421	363
	中規模1 50～99	8%	37%	45%	30%	8%	7%	4%	13%	17%	34%	29%
		71	322	393	263	73	60	31	115	146	300	253
中規模2 100～199	7%	30%	38%	33%	9%	10%	4%	12%	16%	37%	26%	
	32	130	162	140	40	45	17	52	69	161	110	
大規模1 200～499	7%	22%	2%	42%	9%	9%	4%	11%	1%	46%	19%	
	13	40	53	77	16	17	7	20	27	85	34	
大規模2 500世帯～	6%	41%	47%	29%	0%	12%	0%	35%	35%	18%	12%	
	1	7	8	5	0	2	0	6	6	3	2	

○その他の欄に記載された地域の課題

・空き家	15件	・道路の除雪	4件
・子どもが少ない・人口減少	10件	・津波・土砂崩れ・非常時の連絡系統	3件
・高齢者世帯、独居老人、高齢化	6件	・遊園地の管理・山の歩道管理	2件
・未婚者の増加	6件	・中心市街地の衰退、町内再編成	2件
・集会所の老朽化・確保	5件		
・集落内の道路の安全確保	4件		

3-10 自治会や町内会の運営や活動の課題について

自治会・町内会等の運営や活動の課題について、「若い世代の参加が少ない」「高齢化等での共同作業の困難化」の2項目において7割の自治会が課題であると答えています。

また、自治会の規模が大きくなるほど、「住民の参加が少ない」を課題として捉える自治会の率が高くなっています。

表3-10-1 自治会・町内会の運営や活動の課題について

		① 大きな課題と 感じる	② 課題と 菅夫	① + ②	③ 課題とは 思わ ない	④ 全く問題 ない	⑤ 考えたこと がない
1 住民の 活動への 参加	全体	15% 523	48% 1,659	64% 2,182	26% 886	3% 104	2% 53
	小規模1 ～19世帯	10% 61	37% 223	47% 284	34% 207	6% 35	3% 19
	小規模2 20～49	13% 165	47% 616	60% 781	29% 375	3% 37	2% 24
	中規模1 50～99	19% 162	52% 455	71% 617	22% 191	2% 21	1% 8
	中規模2 100～199	20% 88	55% 237	76% 325	18% 77	2% 9	0% 2
	大規模1 200～499	19% 35	61% 112	80% 147	16% 30	1% 1	0% 0
	大規模2 500世帯～	29% 5	47% 8	76% 13	18% 3	0% 0	0% 0
	2 活動資金 ない	全体	10% 339	32% 1,103	42% 1,442	40% 1,358	6% 223
小規模1 ～19世帯		13% 76	36% 218	48% 294	29% 176	7% 44	4% 24
小規模2 20～49		11% 145	32% 421	44% 566	39% 500	6% 72	4% 54
中規模1 50～99		9% 81	33% 290	43% 371	43% 371	6% 54	3% 29
中規模2 100～199		6% 27	28% 122	35% 149	46% 196	8% 36	4% 16
大規模1 200～499		4% 8	23% 42	27% 50	54% 98	8% 15	3% 5
大規模2 500世帯～		0% 0	24% 4	24% 4	53% 9	12% 2	0% 0

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

		① 大きな課題と 感じる	② 課題と普及	① + ②	③ 課題とは思わ ない	④ 全く問題ない	⑤ 考えたことが ない
3 高齢化・共同作業の困難化	全体	20% 684	48% 1,660	68% 2,344	20% 699	2% 75	2% 79
	小規模1 ～19世帯	27% 162	41% 247	67% 409	19% 113	2% 14	3% 18
	小規模2 20～49	19% 241	49% 638	68% 879	21% 276	2% 26	2% 31
	中規模1 50～99	20% 173	51% 447	71% 620	20% 173	2% 19	2% 15
	中規模2 100～199	18% 76	51% 218	68% 294	21% 90	3% 12	1% 6
	大規模1 200～499	15% 27	50% 91	64% 118	22% 41	2% 3	4% 8
	大規模2 500世帯～	0% 0	71% 12	71% 12	18% 3	0% 0	0% 0
	4 若い世代の参加が少ない	全体	28% 974	44% 1,526	73% 2,500	17% 567	3% 103
小規模1 ～19世帯		27% 162	38% 229	64% 391	19% 113	4% 27	2% 11
小規模2 20～49		25% 326	46% 598	71% 924	17% 222	3% 43	1% 17
中規模1 50～99		33% 290	43% 379	77% 669	16% 140	2% 19	1% 8
中規模2 100～199		30% 130	49% 212	80% 342	14% 59	2% 10	1% 4
大規模1 200～499		28% 52	51% 94	80% 146	15% 28	1% 2	0% 0
大規模2 500世帯～		53% 9	24% 4	76% 13	18% 3	6% 1	0% 0
5 役員が固定化されている		全体	15% 505	33% 1,147	48% 1,652	31% 1,055	8% 283
	小規模1 ～19世帯	16% 96	26% 160	42% 256	28% 173	10% 63	6% 36
	小規模2 20～49	13% 165	33% 424	45% 589	33% 428	9% 113	5% 62
	中規模1 50～99	15% 129	37% 321	52% 450	32% 275	7% 60	4% 31
	中規模2 100～199	17% 71	35% 150	51% 221	30% 127	8% 33	5% 21
	大規模1 200～499	20% 37	42% 77	62% 114	23% 43	5% 9	3% 5
	大規模2 500世帯～	6% 1	59% 10	65% 11	29% 5	6% 1	0% 0

各課題に順位付けしていただいた結果が下表です。小規模の自治会では、「高齢化による共同作業の困難化」の順位が高く、中規模では「若者の参加」、大規模では「住民の活動への参加」の順位が高くなっています。
また、その他の項目に記載された内容を下欄に記載しています。

表3-10-2 自治会・町内会等の活動・運営における課題の順位

	順位	1 住民の活動への参加		2 活動資金ない		3 高齢化、共同作業困難		4 若い世代の参加が少ない		5 役員等が固定化されている	
		件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
全体	1位	590	17%	418	12%	719	21%	750	22%	340	10%
	2位	670	20%	322	9%	661	19%	825	24%	347	10%
	3位	715	21%	362	11%	623	18%	630	18%	355	10%
小規模1 ～19世帯	1位	44	7%	89	15%	164	27%	111	18%	54	9%
	2位	81	13%	74	12%	135	22%	123	20%	54	9%
	3位	117	19%	76	13%	81	13%	98	16%	54	9%
小規模2 20～49	1位	193	15%	189	15%	291	22%	287	22%	103	8%
	2位	253	20%	132	10%	264	20%	303	23%	114	9%
	3位	279	22%	143	11%	227	18%	231	18%	134	10%
中規模1 50～99	1位	181	21%	93	11%	173	20%	207	24%	82	9%
	2位	179	21%	77	9%	154	18%	209	24%	101	12%
	3位	117	13%	76	9%	81	9%	98	11%	54	6%
中規模2 100～199	1位	114	27%	33	8%	63	15%	102	24%	58	13%
	2位	105	24%	28	7%	69	16%	129	30%	51	12%
	3位	89	21%	41	10%	110	26%	82	19%	43	10%
大規模1 200～499	1位	46	25%	12	7%	25	14%	37	20%	40	22%
	2位	45	25%	10	5%	29	16%	56	31%	23	13%
	3位	42	23%	12	7%	32	17%	43	23%	25	14%
大規模2 500世帯～	1位	7	41%	-	0%	1	6%	4	24%	1	6%
	2位	2	12%	-	0%	5	29%	4	24%	3	18%
	3位	1	6%	-	0%	4	24%	3	18%	5	29%

※各課題に対して順位付けをおこなった結果である。

※同一順位を複数降っている、また、1～5まですべて番号を振っていない場合がある。

※その他の欄、未記入があるので、率の計は100%にならない。

○その他の項目			
・若者が少ない	16	件	
・役員のみで足りない	14	件	
・世帯数の減少	6	件	
・少子化	6	件	
・町内に集会所の確保・補修	5	件	
・空屋対策	5	件	
・自治活動への関心が少ない	3	件	
・新住宅団地・マンション住民の参加	3	件	
・高齢化・一人世帯の増加	3	件	
・要介護者・病人が多い	2	件	
・行事が多く、役員の負担が大きい	2	件	
・除排雪等の問題	2	件	
・若者の交流なし	1	件	
・婦人会組織	1	件	
・祭りの実施			1 件
・ペット霊園の建設			1 件
・プライバシーの保護			1 件
・不法投棄対策			1 件
・名前だけの役員			1 件
・隣どうしが仲が悪い			1 件
・独身者が多い			1 件
・地域に産業が無い			1 件
・地域共同体作業用具庫			1 件
・女性の参画少ない			1 件
・小中学生の参加			1 件
・支援体制の確立			1 件
・祭典だけの青年部			1 件
・高齢者の組織化・意欲づけ・参加			1 件

3-11 課題解決に向けて活動している自治会や町内会への視察や交流要望について

課題解決に向けて、1/4の自治会・町内会が、視察や交流に興味があると回答しています。

また、規模が大きいほど交流に対する要望が高くなり、200世帯以上の自治会では5割近い視察や交流の要望があります。

表3-11-1 他の自治会への視察や交流の要望について

	①ぜひ行ってみたい	②行政がパスを出してくれるなら行きたい	①+②	③行ってみたいと思わない	④役員・住民に確認してみないと分からない	⑤行くか分からないが情報には興味がある。
全体	8% 287	16% 547	24% 834	10% 348	25% 860	37% 1263
小規模1 ～19世帯	5% 31	10% 62	15% 93	15% 90	26% 158	39% 235
小規模2 20～49	7% 93	14% 176	21% 269	10% 128	27% 354	38% 487
中規模1 50～99	10% 87	18% 154	28% 241	9% 80	24% 208	37% 321
中規模2 100～199	10% 45	24% 102	34% 147	8% 35	23% 99	33% 144
大規模1 200～499	13% 23	25% 45	37% 68	6% 11	18% 33	36% 66
大規模2 500世帯～	29% 5	35% 6	65% 11	6% 1	0% 0	24% 4
未記入	11% 3	0% 0	0% 3	11% 3	21% 6	18% 5

表3-11-2 上記①、②の場合参加範囲について

	①役員等対象を絞って実施	②住民に希望を募る
全体	14% 474	13% 444
小規模1 ～19世帯	6% 35	12% 74
小規模2 20～49	11% 142	12% 161
中規模1 50～99	16% 141	15% 129
中規模2 100～199	22% 93	13% 56
大規模1 200～499	29% 53	9% 17
大規模2 500世帯～	35% 6	18% 3
未記入	7% 2	11% 3

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

交流のテーマについては、「③高齢者世帯への除雪・雪下ろし等共助支援」のニーズが一番高く、ついで「④防災・減災対策」であり、安全安心についての要望が多いことがわかります。

規模別の分類では、49世帯以下の小規模自治会では、「③高齢者世帯への除雪・雪下ろし等共助支援」が一番ニーズが高く、100世帯以上の規模の自治会では「④防災・減災対策」について一番ニーズが高くなっています。

表3-11-3 視察・交流のテーマについて

	順位	①祭典・伝統芸能等の文化継承や復活	②集落資源の収入源化(山菜の販売等)	③高齢者世帯の除雪・雪下ろし等の共助	④防災・減災対策	⑤運動会等のレクリエーション活動	⑥地域特産品開発	⑦地域おこし協力隊等外部人材の受入
全体	1位	119 20%	102 17%	271 45%	244 40%	59 10%	61 10%	29 5%
	2位	91 15%	83 14%	231 38%	222 37%	94 15%	68 11%	59 10%
	3位	117 19%	45 7%	97 16%	113 19%	151 25%	76 13%	111 18%
小規模1 ～19世帯	1位	11 2%	26 4%	35 6%	16 3%	2 0%	10 2%	4 1%
	2位	9 1%	17 3%	21 3%	22 4%	9 1%	12 2%	10 2%
	3位	10 2%	3 0%	11 2%	12 2%	13 2%	10 2%	17 3%
小規模2 20～49	1位	37 3%	38 3%	98 8%	76 6%	16 1%	24 2%	13 1%
	2位	31 2%	36 3%	68 5%	64 5%	36 3%	30 2%	21 2%
	3位	37 3%	21 2%	38 3%	43 3%	43 3%	29 2%	38 3%
中規模1 50～99	1位	43 5%	24 3%	68 8%	71 8%	18 2%	20 2%	8 1%
	2位	31 4%	21 2%	75 9%	71 8%	18 2%	15 2%	10 1%
	3位	34 4%	14 2%	27 3%	34 4%	47 5%	19 2%	35 4%
中規模2 100～199	1位	19 4%	9 2%	47 11%	50 12%	21 5%	4 1%	3 1%
	2位	12 3%	8 2%	49 11%	41 10%	19 4%	8 2%	12 3%
	3位	23 5%	5 1%	8 2%	18 4%	29 7%	13 3%	17 4%
大規模1 200～499	1位	8 4%	5 3%	20 11%	26 14%	2 1%	3 2%	- 0%
	2位	7 4%	1 1%	14 8%	21 11%	11 6%	2 1%	6 3%
	3位	9 5%	1 1%	13 7%	6 3%	15 8%	5 3%	3 2%
大規模2 500世帯～	1位	1 6%	- 0%	3 18%	5 29%	- 0%	- 0%	1 6%
	2位	1 6%	- 0%	4 24%	3 18%	1 6%	1 6%	- 0%
	3位	4 24%	1 6%	- 0%	- 0%	4 24%	- 0%	1 6%

※率は各区分毎の自治会数に対する率である。

※未記入及び複数回答があるため、合計は必ずしも100%とならない。

※規模の区分は、加入世帯数によるが、加入世帯数が未記入の場合は区域の世帯数による。

○その他の交流テーマ

・ 若者の参加	3件	・ 津波等	1件
・ 共同作業(草刈り、清掃等・除雪)	2件	・ 若者と高中年との交流	1件
・ 町内会活動の実態	2件	・ 健康づくり、例えばラジオ体操	1件
・ 高齢世帯の見守り	2件	・ 各団体の連携及び事業実施	1件
・ 若者のUターン対策地域	1件	・ 地域コミュニティの醸成活動	1件
・ プライバシーを守りながらの親切運動	1件	・ 美化運動	1件
・ 福祉活動	1件	・ 住民総参加のイベント	1件
・ 道路の除排雪	1件	・ 共助	1件
・ 冬期(6ヶ月間)の収入源化	1件		
・ 伝建群保存地区	1件		

3-12 現在、交流や連携している自治会や企業等の団体の有無について

「現在、交流や連携している自治会や企業等の団体」について「有る」に全体の13%にあたる447件の回答をいただきました。

交流や連携している相手先により分類したものが次ページの「表3-12」です。

「隣接する集落」との取組が183件と最も多く、祭典や伝統行事、盆踊り、親睦行事など単独集落では困難になってきた身近な活動が共同で行われています。また、集落会館の共同利用や自治会活動全般を一緒に行っている自治会もあります。

大字や小学校区規模の「地域協議会・連絡会」での取組は143件です。情報や意見交換、行政要望等が特に多いのですが、盆踊りや親睦行事等を共同で行っている地域もあります。また、地域によっては、自治会活動全般を地域協議会でやっている場合もあります。

民間企業との連携は27件あります。盆踊りや親睦活動、美化活動が連携して行われています。会社が地域内にあり自治会の会員として参加している場合もあります。

地域内にある地域自主防災組織、消防団、老人クラブ、子供会や婦人会、環境保全組織または地域外の社会福祉協議会、体育協会、交通安全協会、商工会等とそれぞれの組織の活動に合わせた取組が行われています。

また、ホームスティの受け入れ等県内の大学と交流活動を行っている自治会もあります。

表3-12 現在、交流や連携している自治会・企業・団体等について

団体の区分	件数	連携している内容
隣接する単独または数集落の連携	183件	祭典・伝統行事(33)、盆踊り・祭り(20)、レクリエーション・親睦行事(18)、地域清掃・花植え等美化(14)、防犯活動・防犯訓練(12)、行政報告・行政要望(9)、運動会(9)、集落会館の共同利用(8)、情報・意見交換(8)スポーツ大会(6)、林野、共有地の管理(5)、自主防災組織(4)、自治会の運営全般(4)、高齢者の見守り・サロン等(4)、ゴミ出しの管理(3)、子供会(3)、役員の交流(3)、水利組織(3)
地域協議会・連絡会・部落会との連携	143件	情報・意見交換(56)、行政報告・行政要望(15)、盆踊り・祭・文化祭(18)、防犯・防災訓練(7)、レクリエーション・親睦行事(7)、敬老会(6)、運動会(5)祭典・伝統芸能(4)、スポーツ大会(4)、センター・会館の管理(4)、自治会の運営全般(3)、健康増進(3)、共助(2)
企業	27件	盆踊り・夏祭り等(8)、清掃・美化活動(6)、祭典(2)、会員として参加(2)、親睦会(1)、山菜・特産品開発(1)、スポーツ大会(1)、神社管理(1)
地域自主防災会・消防	16件	災害の予防、防災訓練、救命講習、消火訓練等
老人介護等福祉施設	12件	災害時の避難誘導(5)、祭り・運動会・親睦会(6)、健康診断
老人クラブ・子供会・婦人会・壮年会	12件	花壇等環境美化、町内会活動への参加、運動会・グラウンドゴルフ、ねぶり流し、健康教室
環境保全協議会	10件	水路、道路の草刈り、美化活動、親睦活動
地域センター・公民館	7件	イベント、視察研修、展示会の協力
市民憲章・体育協会・交通安全協会	7件	青少年育成、各団体行事への参加
地域づくりの有志会	6件	環境維持、祭り・イベント、地域活性化
商店街、観光協会	6件	夏・冬祭り(3)、観桜会、祭典
国際教養大学、秋田大学、ノースアジア大学、保育園	6件	ホームステイ、交流活動
社会福祉協議会	6件	敬老会、イベントの協力
生活を守る会	4件	避難訓練、防災訓練
防犯協会・地域包括センター	3件	高齢者の見守り、交流会
元気ムラ支援室	3件	集落間交流、大交流会
林地の管理委員会・財産区	3件	財産・施設の管理
その他の団体	10件	J A (2)、病院(2)、神社、伝統芸能保存会、水稻生産組合

3-13 自治会・町内会の元気づくり活動について

自治会や町内会の元気づくり活動についてのお考えを、819自治会から自由回答欄に記載していただきました。

自治会の少子高齢化・過疎化に関連して記載された内容が234件と最も多く、その他は表3-13-1のとおりです。御意見の一部を表3-13-2に掲載しました。なお、表現等は、原文を生かしております。

表3-13-1 元気づくり活動についての記載項目別件数

項目	件数	項目	件数	項目	件数
・少子高齢化・過疎化	234件	・財源の確保	39件	・健康づくり	13件
・行政の支援・要望	188件	・共助・福祉	30件	・未婚者	9件
・地域づくり・運営	182件	・雇用・産業	29件	・元気ムラ	6件
・つながり・親睦	123件	・自主防災・防犯	27件	・女性の参加	5件
・若者の参加	118件	・集会施設	26件	・買い物弱者	2件
・住民の参加・協力	98件	・活性化イベント	19件	・外部人材	2件
・多様な連携	73件	・リーダー	18件	・その他	46件
・情報・研修・アンケート	66件	・空き家	17件		
・役員の選出	44件	・除・排雪・雪下ろし	16件		

※複数回答あり

表3-13-2 自治会・町内会の元気づくり活動について

項目	記載内容(紙面の関係で、表現等一部省略等しております。)	市町村名
少子化・ 高齢化・ 人口減少	数百、数千人の人数よりも、一人の赤子のオギャアの声がある町内が、元気がある町内活動ができると思っています。机上の街づくりよりも、子どもを産める環境が元気ある街づくりと思う。	秋田市
	年々高齢化、少子化が進み、また一人暮らしや高齢化夫婦家庭が多くなり、自分のことで精一杯で現状維持から前向きな対応策が見出せない。	能代市
	高齢化が進み活気ある子供の声が少なくなってきた。この過疎を克服する為、老人クラブと子供会がタイアップし「お盆まつり」や「花植え」等の触れ合いを通し元気ムラ作りを目指している。	横手市
	止めることのできない少子高齢化で、町内会としても、いずれ何かしらの対策を考えなければならないときが来ると思っています。	大館市
	高齢化が進み活動は停滞していますが、共有田のおかげで早苗振り、収かく祭、総会と年3回は部落民が集まって座談会を行っている。	大仙市
集落も高齢化が進み、また若い者は勤めに出ているため集落の活動が上手いかわからないのが現状です。元気ムラ作りも協力してもらえず、何もできないのが一番の悩みです、	羽後町	

項目	記載内容(紙面の関係で、表現等一部省略等しております。)	市町村名
行政の望 支援・要	若い人の自治組織へ参画意識の啓発と、地域創りへの提言と支援体制の強化を切に望みます。自治会と、行政の知恵の一致が必要と考えてます。行政職の皆さんも地域の一人です。小さい声、ひとつを大切にしていきたい。アンケート結果をお知らせ下さい。	由利本荘市
	町内会ごとの課題や規模、町内会自体の考え方が違う。行政は、各町内会の詳細の実態調査を実施し、要望をとりまとめ地域課題の関係団体と行政をいれたネットワーク組織を、広域に配置し、町内会同士の横の連絡を是非作って頂きたい。また、そのための学習が必要である。お金のついた事業だけでは続かない、さらなる要求があるだけです。	大館市
行政の支援・要望	自治会活動は長い伝統と地域社会の中で守られてきて、住みよい地域、強い絆で結ばれ、地域活動の中核となって活動している。参加者の減少、特に若者の参加が減っており、地域の元気と活気を呼びおこすには、新たな活動組織を立ち上げる支援構想も必要ではと想う。	秋田市
	当集落は、年貢米など雄物川の物資の交通の要所であり、眺望の景勝地です。共有地の雑木林を活用した遊休畑活用など活動できる要素があるので、行政の指導支援を希います。	羽後町
	少子高齢化が進み、住民が疲弊する中、行政の事業がどんどん住民サイドにおいて来て、行事に忙殺され、住民の理解が得にくい点がある。それぞれの地域ごとの実情を重視、主体性に期待しながら後押しできるものは極力支援する形でよいのではないのか。	大仙市
	1自治体(市)で町内会組織の実態を調査し把握してほしい。2町内会議を開催しての意見交換。3市行政の町内会への現状認識と問題提起が少ない。(自助と公助の役割分担も)	横手市
地域づくり・組織運営	地域の事業の決定に住民が参加することは大変意義で、誰もが参加でき、提案者になれること「みんなで夢を持ち楽しみながら地域づくりをしていくこと」が最大の目的だと考える。それぞれの地域が特性を活かし均衡ある発達がなされるように全体を見据えた町内会運営に徹し、真に市民が望む活動を具現化しなければならないと思う。	横手市
	当地区は一般住宅はほとんど無く、マンション、アパート住まいの人が大半で、しかも転勤を伴う人達なので結びつきというものが全くない。その中での組織づくりは非常に困難である。	秋田市
	1. 町内会内の交流、意志の疎通を深める 2. できることは町内会で対応する 3. 行政との協力関係を深める 4. 地産地消など地元中心に生活環境づくりをすすめる	湯上市
	高齢化が進む現状において、自治会員(地域住民)が10年後～20年後の集落組織の在り方をどのように考え、どのようにしたら地域集落が存続できるかを聞き取りしていければと思う。	美郷町
	ここ5～6年の間に町内の世帯数が35世帯あったのが27世帯に減少し、限界町内になるのではと心配している。伝統的な曳山や張り番等の設置や運営が将来困難を来すのではと危惧している。行政に頼るだけではなく地域の自治会として出来るだけ自分たちの町内会は自力でやっていきたいと努力しているが、全てが減少していく状態では止めようが無くどうしようもない。	仙北市
運営をあまり多くすると役員の負担も増し、それを見ている会員はとも役員になりたくないと思い、役員になる人がいなくなる。町内会への期待が多くなり過ぎるのも問題だ。	秋田市	
地域住民のつながり、親睦	町内機関誌「かわらばん」が380号を突破し創刊30数年地域の情報を伝えており、地域の活動に影響を与えている。	大仙市
	避難訓練、防災訓練を実施している。町内の子供から老人迄集うので町民の絆を作るのには一番良いのではないかと考えて年1回だが続けている。	秋田市
	自治組織の役員だけで進めようとしてもうまくいかない。地域内の老人クラブ・スポーツクラブなどの趣味の会・子供会など様々な同好クラブを総動員して常に町内会と一体化した協力体制を築くことが肝要と思う。その基本は親睦を深めあえる機会を多くもつことだと考えます。	秋田市
	会合、行事などをなるべく頻繁に開催する。このことによって住民の結びつきが強まり、災害等の場面で人間力が有効に働き、共助体制が確立していく。行事によって住民各人を知ることになるだけでなく、各人の特技・能力も自然と把握できて、いざというときにそれが生かされる。	八峰町
	農業集落で既居住者宅では若い人が減少する一方、戸建住宅とアパートの増加で、町内会員増している。既存と新規会員の融和を図るため、夏まつり(子供会を巻き込んで)等で、がんばっているが新旧の結びつきを強める難しさを感じている。	秋田市
	町内会報を出し、次にラジオ体操を始め、町内会の動きや顔合わせできる場を設けました。今後、レクリエーションを計画していますが、半数以上が参加できる案がないか模索中です。	秋田市
加若者の参	若舟会が中心となり毎年8月納涼大会として全世帯誰でも参加出来る会を開催し楽しんでいる。自治会の一体化のため援助しており、大変有意義なことだと思っている。	北秋田市
	若い人の価値観が多様化しているのでなかなか組織にとけ込めないでいる。そんな中、今夏盆踊り大会とコラボで納涼祭を実施。それなりの手応えがあった。	井川町

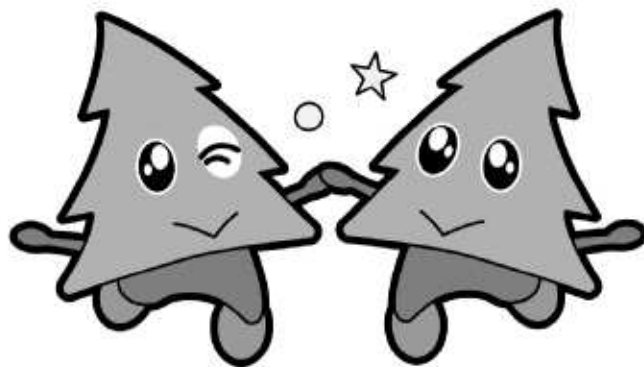
項目	記載内容(紙面の関係で、表現等一部省略等しております。)	市町村名
若者の参加	若い世代から役員になってもらっています(3年ほど前より)その結果、若い世代の人達が行事等への参加が多くなった様に思われます。	美郷町
	若者が自治会活動へ目を向け協力することにより生き生きとした活力ある地域になると考えます。そこでこれからどう若者を引きつけるか考えたい	北秋田市
	若い世代の参加が少ないことを問題にする向きがあるが、現代の雇用条件の厳しさを考えれば若い人に自治会活動は強要しない方がよい。自治会は「じい会」で結構。	能代市
	年に一度は小中高生をまき込んだイベントを実施したい。各学校の理解を得ることは、むずかしいが、市町村単位でできないものか。企画、立案も中高生を含めて行いたい。	湯沢市
住民の参加	町内会活動がマンネリにならないように創意工夫しているが、少子高齢化で参加率が良くない。納涼祭、餅つき大会、なべっこ、運動会の開催、火災報知器の共同購入に取り組んだ。	大仙市
	①多く人が集まるような活動(楽しく暮らせる考えを持って実施すること) ②意見を素直に受け入れる会合を持つこと ③各種団体長とのコミュニケーションを常に持つこと。	秋田市
	町内会は市民生活の基本単位で、様々な活動を皆で協力して行う為には、常日頃からの町内の皆さんの親睦が大切です。しかし、現状は親睦会やクリーンアップ活動等に参加するメンバーが固定化され、参加しない人は全く顔を出さない状況です。特に、子どもを持つ親の年代の人達の参加が少なく、この人達の呼び込みが、今後の課題であると思います。	男鹿市
隣接自治会や他団体との連携	高齢者、若い住民、隣接している美大の学生たちが交流をもち、相互に理解しながら地域活動していくことが重要と考えている。	秋田市
	当地区では、自治会より、むしろ最近では、地区活動の推進協議会が先頭に立って活動を展開しており「地区会」の役割は限定的になりつつあり、活推協の役割が増大しています。	藤里町
	県内外の自治組織を毎年視察している。自治組織の枠組や再編、事業等の共同活動の時代に突入している。羽立2自治会では自主防災会の事業を羽立3、神上3自治会で共同活動している。今後も地域コミュニティ活動の輪を広げて行いたいと思っている。行政の支援も重要。	湯上市
	少子高齢化が進み、組織活動の現状維持だけで手一杯なのが実情である。このため、将来に向けた地域活動について議論する意識を住民に持って貰うためにも、住民の理解を得ながら、先進事例や他組織、グループ等との交流も大切と思う。	藤里町
	市全体で「自治会長会議」を実施しているが、上からではなく自治会の話し合いも必要と思う。市花輪地区での自治会交流会開催を要望している。	鹿角市
情報・研修・アンケート	全県に自治会組織連合体があればと思います。全県の情報、交流がなされると思う。	能代市
	新人役員が15人中10人と2/3を占めるため、地道な活動と高い目標をもった考え方を求めて話しています。他地域の実情を見学して、悩みの積み重ね活動の実情を知りたい。	にかほ市
	県内で「元気ムラ」活動が展開されている事を初めて知りました。今後、当町内会として何ができるか、又はできないのか。模索したいと思います。	男鹿市
	視察交流は、自治会連合会が主体となって実施し、それらに参加し、地元で広報している	秋田市
	今回実施されましたアンケートの回答の統計結果を是非開示して頂きたい。又、他の地域の活動状況(特に参考になる事案)をお知らせ願いたいです。	由利本荘市
役員選出	女性会員の活発な活動を推進する。町内会がなぜ必要なのかや、全員参加で役員を選任していることを理解してもらおう。役員をすることが楽しい事であることを理解してもらおう。	大館市
	自治会の役職を30～50歳代の若い人が中心になり、60～70歳代の方が副会長で補佐役になり協力すれば町内が元気になる。70歳前後の方がトップでは若い人との意見が合わない。	五城目町
	町内行事等への参加者が少なく固定化されている。その背景には「行事に参加すると町内役員に選出される」という考えが流れている。町内会役員のみ手がない。	秋田市
	自治役員の高齢化が単一化(60代前半)のため、各世代20代、30代、40代、50代、60代の男女問わず選出できれば、活発な意見が出て活性化につながると思います。	横手市
財源	子供会、青年会、町内会が財源を確保し独自の活動も行っており、町内会の力となっている。他の町内との交流も深めている。(他町内から子供会や青年会への加入受け入れている)	横手市
	休耕地を利用した畑づくりをしながら、自治会員が自由に集まることのできる、交流できる場づくりを考えていますが、コンテナの購入や電気、水道等の費用の捻出が課題。	能代市
	募金・集金の依頼の他、掃除、お節句、運動会等に出費している。個人からすればお寺維持費、神社の維持費等合計すると多額の負担になっている。河川掃除、道路掃除等に現物支給でもいいから助成していただければありがたい。	羽後町

項目	記載内容(紙面の関係で、表現等一部省略等しております。)	市町村名
財源	町内会として何か自給自足的な事業(収入)がないか模索中である。高齢者が多いので、できればあまり労働力のない負担の軽い事業を発掘できないものか。	大仙市
共助・福祉	18戸中7戸が1人で生活する高齢者、民生委員又役員の協力で高齢者の安全、防災の支援。	三種町
	高齢者のみの世帯が増えるので、除雪や災害時のサポート体制を整えたい。サポートする側の理解を深め、若い人々の積極的な参加をめざして町当局と連携をとり進める必要がある。	井川町
雇用・産業	少子高齢化が進む中、地域が消滅しないよう、隣接する町内会が共同で活動するなどして伝統行事などの継承に努力をしていき、行政主導のご努力により、地方でも若い人達が職場を確保でき、安心して結婚し子育てができ、地域が活発化していけるように願っております。	仙北市
	若い世代の流出をなくす為に多くの雇用の場と若い世代の人が面白く遊べる場所がある事で、仲間づくりが出来ると思う。そのような環境の場所もあっていいと思っております。	大仙市
	若者の人数を増やすため就職先の大幅な確保が必要。県政の最大の取組を期待したい。	秋田市
集落会館	町内会発足当初から集会施設がない。町内の各会合は担当役員宅で集会を開いている。土地と建設助成金等、行政の援助で会館を持ればコミュニケーションの場を広げ、町内会員の親睦を深め、隣近所の助け合いでこの町内に住んで良かったと思うようにしていきたい。	仙北市
	集会施設が欲しいが資金がない。高齢化が進んでおり、後継者(跡取り)がいない為、取得のための協力金が得にくい。空き家の利用を斡旋してもらえると助かる。	大館市
自主防災	現在、隣接する4町内会で構成する自主防災組織の立ち上げに向けて協議中である。	潟上市
	高齢者のみの世帯が今後益々増えてくると思われるので、除雪や災害時のサポート体制を整えておきたいと思う。また、サポートする側の理解を深め、若い人々の積極的な参加や絶対数の増加をめざして町当局と連携をとって進めて行く必要があると思う。	井川町
リーダー	自治会とは、自分の住む地域は自らでより良い地域にしていかなければならないと思う。その為には、哲学、信念を持ったリーダーの育成が急務と思われる。元気づくり活動も単発ではならないと思う。課題があっても、自らで解決しなければならない。	三種町
	町内会の運動会、さなぶり大会、その他の会合などで盛り上がっている。活動の意義は理解できるが、各自の生活で精一杯で、余裕がないように見えるし、リーダーが必要だ。	井川町
空き家	高齢化は避けられない。空き家取得に補助制度を設け「想いの家」「サロン」等の方策を。	秋田市
除排雪	除雪、見守りへの不安から施設等へ移り、空き家が増え、その空き家が雪のため荒れていく。除雪はブルドーザーが置いていく雪の処理に早朝力仕事をせざるを得ず、高齢者には無理で退去となる。降った雪の処理なら自力でできるが、除雪車が残すかたまりはどうしようもない。	横手市
健康	昨年「生き生き元気塾」を定期開催して2年目ですが、毎回参加者が減少することなく盛会で。同じ情報、体操、体験等共有することで一体感が出てきている。	鹿角市
未婚者	結婚できていない若者、それに伴う老人や一人家庭及び後継者不在の家庭などが増加し、地域の衰退が急激に進んでいる。正に限界集落の敷衍が進んでいる。	由利本荘市
女性の参加	横町自治会は女性世帯が多く、居場所づくり等に参加できるよう声がけをしている	北秋田市
	今年会長になり役員は皆若い人なので、意見を聞き町内融和を深め、豊かな町内を実現したい。女性役員不在なので女性をいれたい。	大館市
人材部	このような活動を行うには3者(モノ)が必要とされている。バカ者、ワカ者、ヨソ者、この様な人々の人材育成が急務と考えています。上位下達では進歩ないと思う。	横手市
弱い物	当町内ですが、人口減少、朝市、商店街の衰退に悩み、自治体が立ちゆかない状態に買い物弱者への対策も自治体の対応が遅く将来が暗い。国と県と直接自治組織の話合いが急務。	五城目町

アンケート調査の内容についてお問い合わせの方は、市町村のサポート窓口または、次の連絡先までお問い合わせください。

秋田県企画振興部活力ある集落づくり支援室

電話 018-860-1215 Fax 018-860-3875



お問い合わせ

地域活動ヒント集 編集部事務局

(秋田県企画振興部活力ある集落づくり支援室)

〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1-1

電話 018-860-1215 FAX 018-860-3875

E-mail: katsu@pref.akita.lg.jp